

2026年3月24日  
責任者：山口 明日波  
編集者：武井 直人  
阿部 翔太  
波紫 太圭



## ● 私たちは労働者

私たちは、賃金を得て生活を送る。労働者です。自らの体を使って働き(労働力を提供)、その対価として「賃金」を得ています。口語的である「給料」とは、本来は支払うものであり、「賃金」が受け取るものになります。現在の日本は働いても賃金が上がらず、将来に不安を抱いてしまいます。しかし、行動しなければ未来は変わらず、勝手に良くなることはありません。だからこそ、諦めずに闘っていくことが重要です。

## ● 再生産費とは？

私たち労働者は「労働力」という商品を買っています。そして、商品には必ず経費が掛かります。私たちにとってその経費こそが生活費等にあたります。つまり、労働者が健康で文化的な生活を営み「明日も今日と同じように働き、生活し続ける」ためには、労働したことによって消耗した「労働力」を再生産できる「経費＝賃金」が必要で

★再生産費には主に4つの項目があります。

- ① 労働者本人の生活費
- ② 文化的な生活費
- ③ 家族の生活費
- ④ 仕事に必要な技能取得費

## ● 春闘とは??

1995年、8つの産業別組織が共同して春の同じ時期に同じ要求を掲げて交渉したのが春闘の始まりです。前年の8月頃から準備が始まり、連合が全体方針を発表し、各産業別組織や企業別労働組合が具体的な要求水準を決めます。そして、春頃に賃金・労働条件の改善を求めて企業と交渉する事により賃金が決定していきます。

では、春闘が私たちにどのような関わりがあるのか考えてみましょう。民間春闘の結果を受けて、人事院や各人事委員会が賃金実態を調査し、年齢・学歴・役職段階、勤務地域(国家公務員)の要素が同じもの同士を比較し、その結果を勧告という形で出します。現在、私たち特別区職員の比較対象企業規模は100人以上となっており、多くは中小企業です。民間企業の賃金が上がっていくことで私たちにも良い影響を及ぼすことから、春闘において民間労組の闘いに連帯する意味は大きいのです。

## ● ストライキの 批准投票とは？

スト批准投票 = 「ストを行う」  
ではない？

私たちの賃金・労働条件などの要求実現には、使用者側との交渉を重ねていくことが重要ですが、使用者側からの不当な提案や不誠実な対応に対し、いざというときに備えてストを含めた選択肢を持っておくことが重要です。スト批准投票は労働組合法に定められた手続きに準ずるもので、ストライキを含む闘争指令権を自治労の中央闘争委員会に委譲することについて組合員の承認を求めるものです。批准投票において、承認が過半数を超えることで自治労のストライキ体制が確立されます。この取り組みは自治労の全組合員が参加する「見える組合運動」とも言えます。もちろん、実際の職場でのスト実施判断は、組合員の意見を確認した上で、各単組が判断することとしていきます。また、批准投票で集まった承認の数は、交渉を進めていく上で大きな武器になります。





# BREAKING NEWS



久々の宿泊での開催！  
楽しく学習していきましょう 😄



職場の垣根を越えた仲間と交流したい！  
そんな、あなたと作る…  
青年部活動家労働講座！！

主役は“君”だ 🔥

今回参加できなかったら…  
来年行ってみよう☆彡

日程 2026年4月19日(日)~20日(月)

場所 箱根路開雲